

2024年度新入社員 の意識調査結果

- 調査期間 2024年4月2日～9日
- 調査対象者 中産連の公開「新入社員研修」参加者
- 調査方法 書面で依頼、無記名で回答
- 回答数 135名（前年125名）

2023.6.28
経営革新コンサルティング部

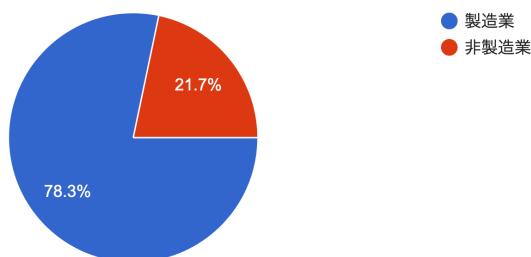


1

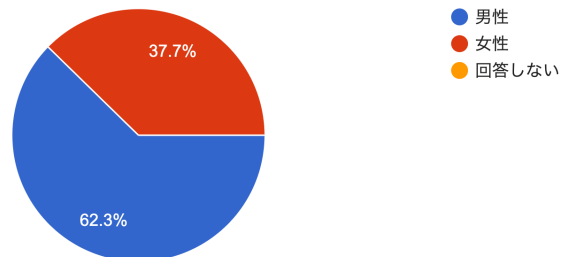
回答者135名のプロフィール

製造業が多く、男性主体の点に特徴ある。

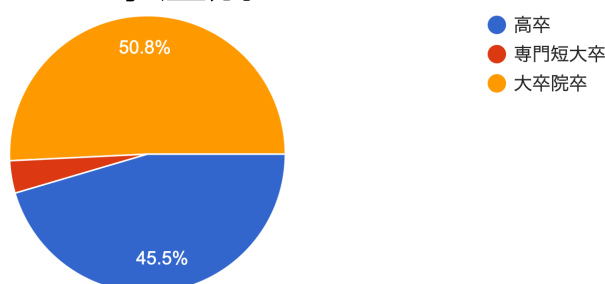
業種別



性別



学歴別

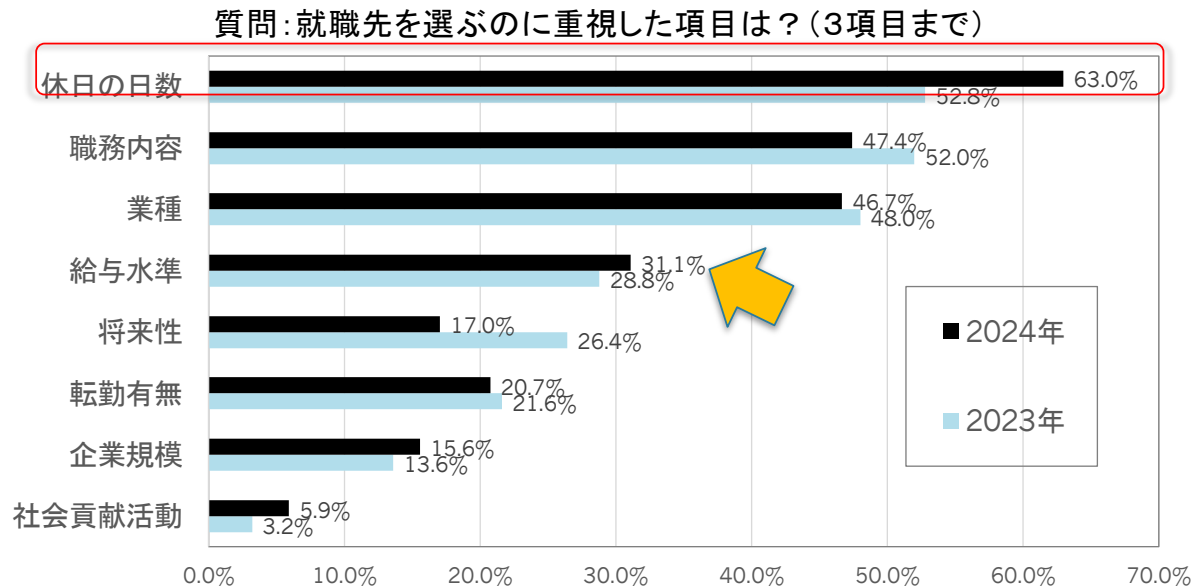


2

2

問1 就職先の選定理由

休日数、職務内容、業種の3つが飛び抜けて多い。中でも**休日数は昨年から大幅に増加した**。企業は労働時間を含めたホワイト化の対応が必要といえる。給与水準は3割程度と高くない点は、全国調査(産能大)と同傾向である。

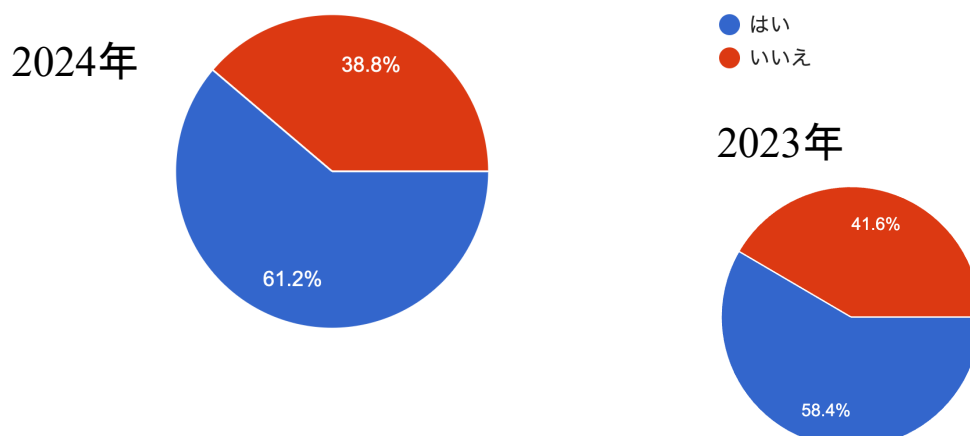


3

問2-1 成果主義の希望

60%以上で、成果を期待している。
全国調査(産能大学2022)の61.1%の水準と同等で、仕事の結果を評価されたい意向を持つ人が多い。

質問: 働いた結果による差のつく成果主義を期待していますか？

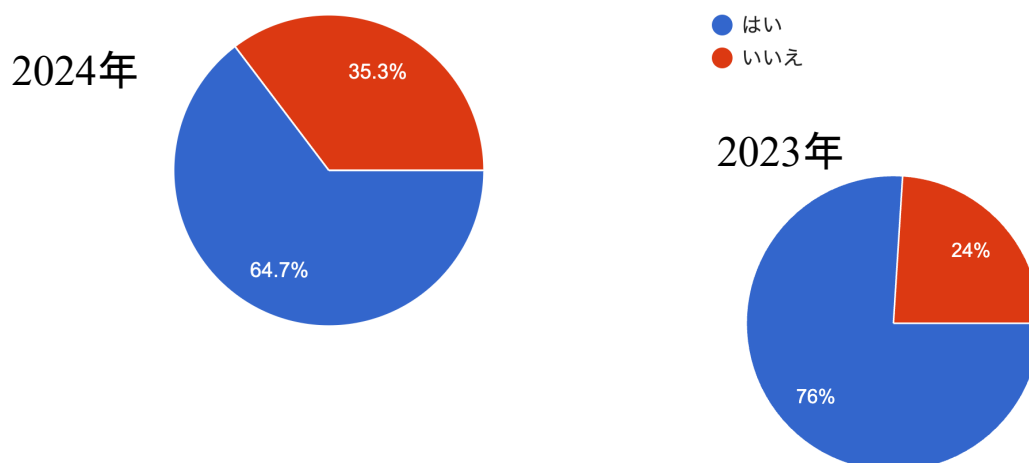


4

問2-2 終身雇用の希望

約3分の2となり、全国調査（産能大学2022）の62.7%と同水準である。
ただ昨年調査より10%以上減少で、傾向の変化がある

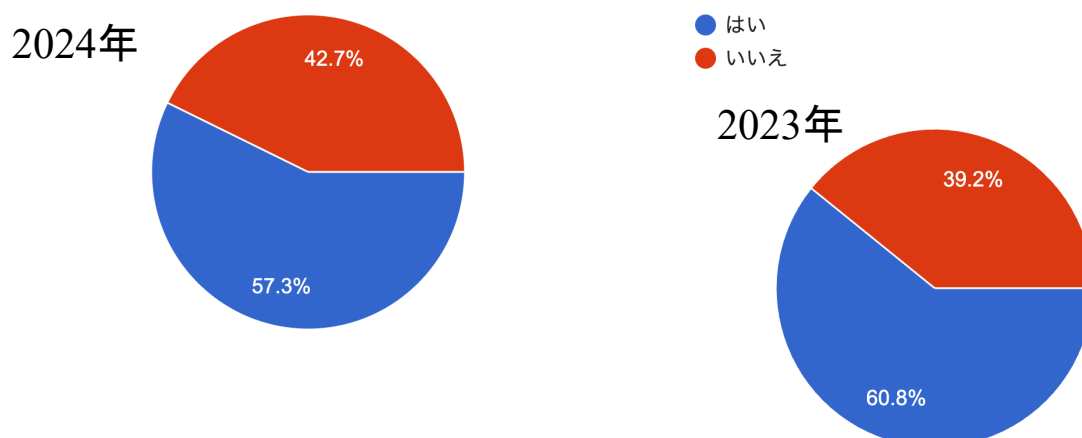
質問：終身雇用によって定年まで働きたいですか？



問2-3 管理職志向

60%程度で昨年少し下回ったが、依然として過半数は管理者志向である。
全国調査（産能大学2022）の53.3%の水準を上回る結果となった。

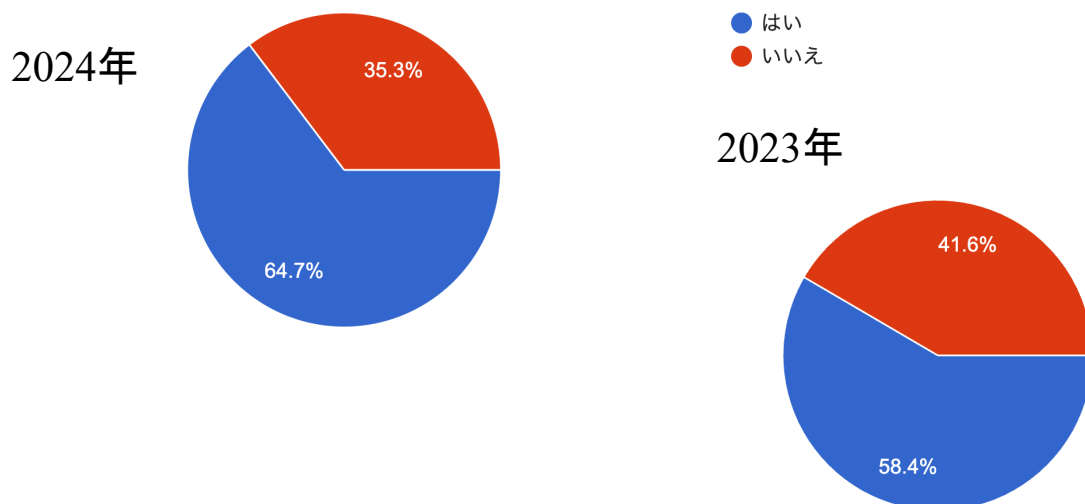
質問：管理職以上を目指したいですか？



問2-4 テレワークの利用希望

昨年より7%増加し、6割を超えた。
全国調査(産能大学)の55.3%の水準を上回る結果である。

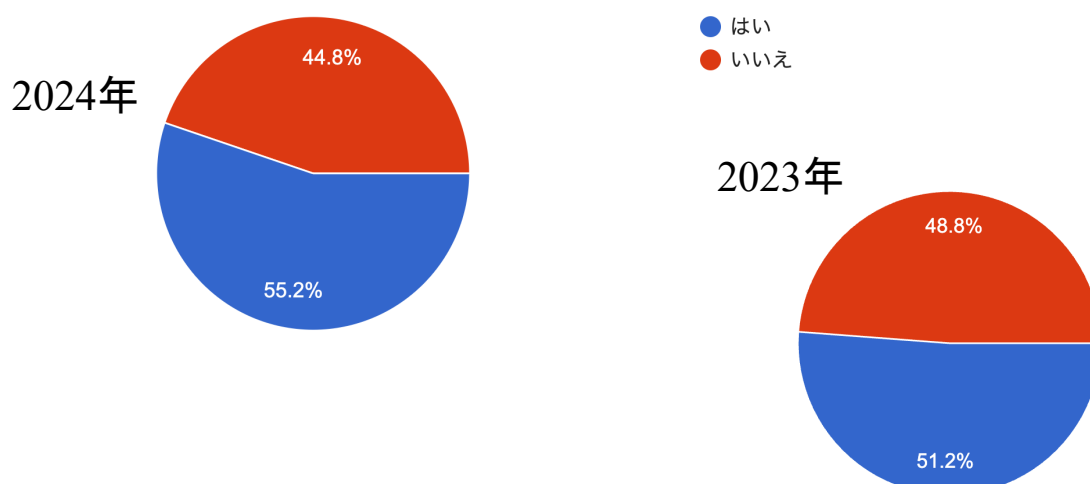
質問:テレワーク制度があれば利用したいですか？



問2-5 副業制度の利用希望

昨年より少し増加して55%となり、希望者が過半数を超えた。
全国調査(産能大学2022)の38.9%の水準を大きく上回る結果である。

質問:副業制度があれば利用したいですか？

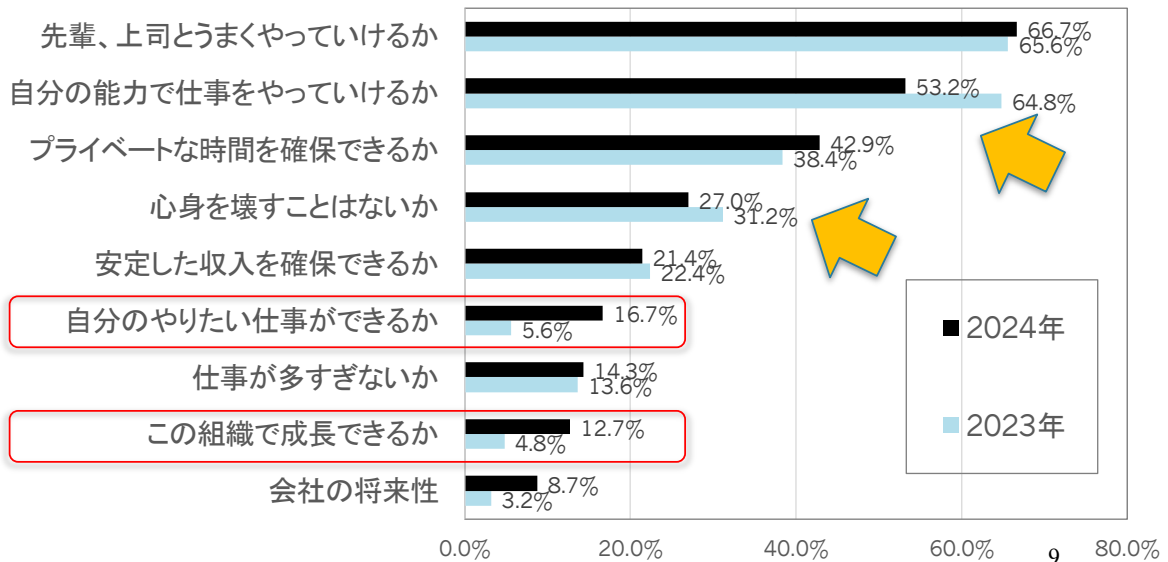


問3 働き始めるのに不安なこと

「上司・先輩とうまくやっていけるか」が継続して1位である。

「自分の能力で仕事をやっていけるか」「心身を壊すことはないか」など悲観的な項目が減少した一方、「やりたい仕事ができるか」「この組織で成長できるか」など前向きな項目が増加した。コロナ後の影響かもしれない。

質問「働き始めるのに不安なことは何ですか？」(3つまで選択)

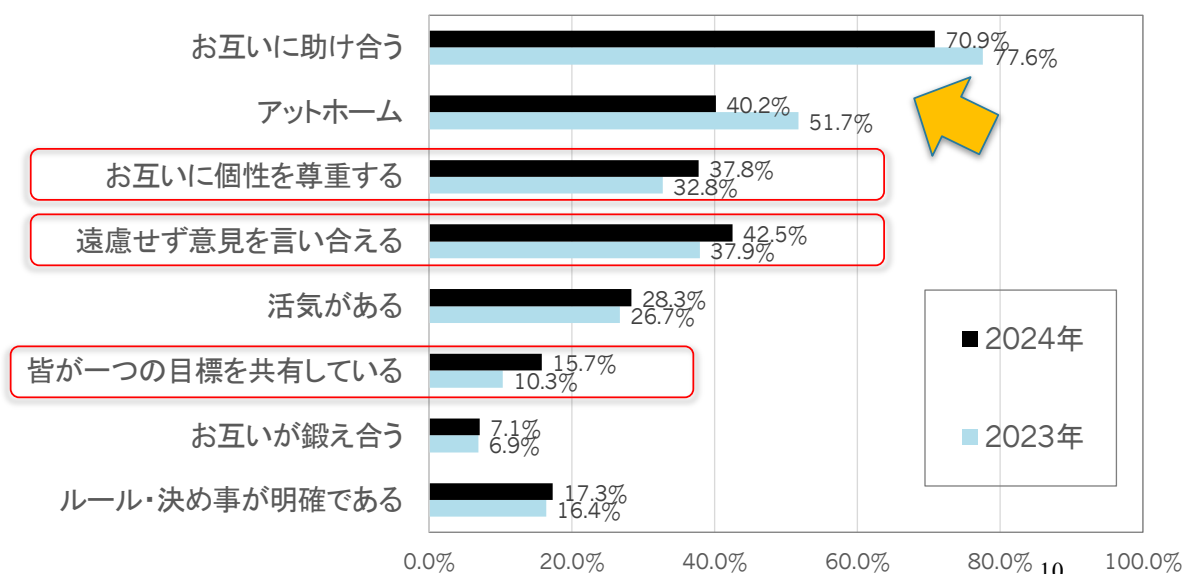


9

問4 働きたい職場

「助け合う」「アットホーム」が多い点に変化ないが少し減少した。「遠慮せず意見を言い合える」「お互いに個性を尊重」「皆が目標を共有」などが増加した。健全な対話を重視する人が増えていると思われる。

質問「どのような職場で働きたいですか？」(3つまで選択)

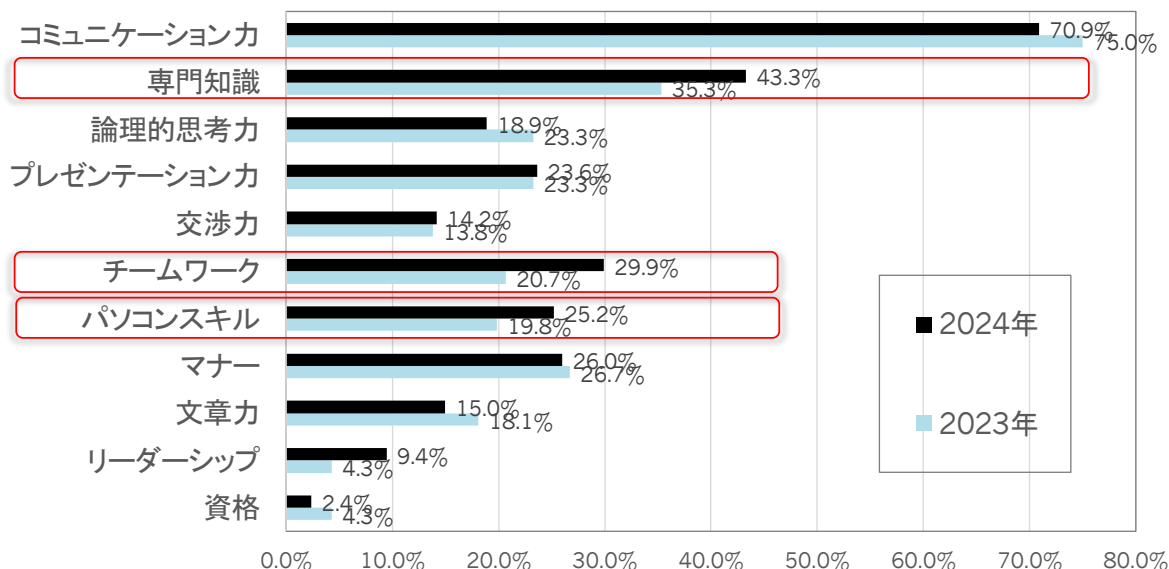


10

問5 これから身につけたい力

「コミュニケーション力」が継続してダントツの1位だが、やや減少した。
「チームワーク」は昨年から大幅に増加し、コロナ後の環境変化を反映していると見られる。また「専門知識」「パソコンスキル」など実務能力も増加した。

質問「これから身につけたい力は何ですか？」(3つまで選択)

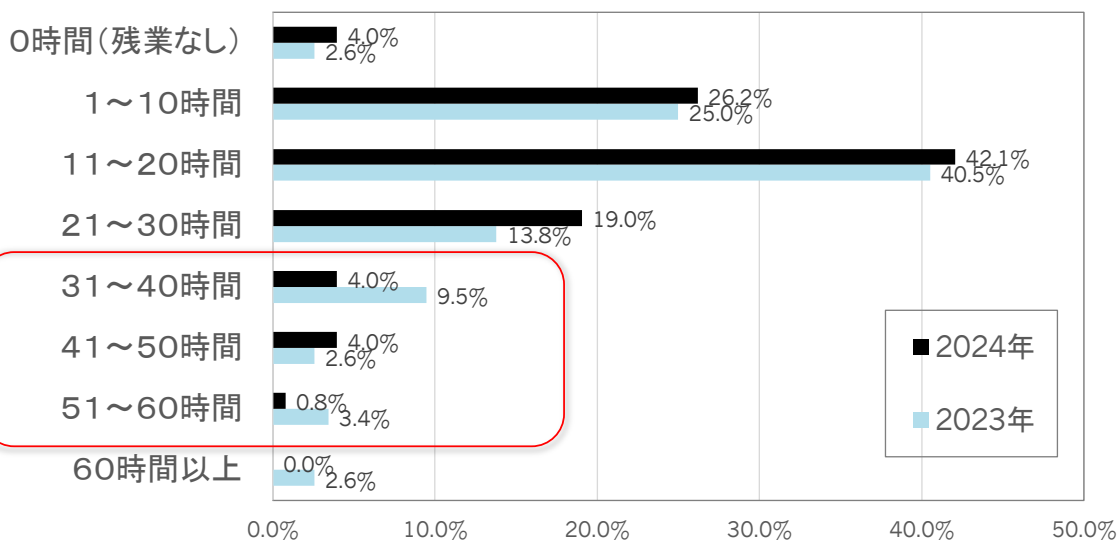


11

問6 許容できる残業時間

「11～20時間」が依然として最多である。その前後となる「0～10時間」26%
「21～30時間」19%を加え、30時間までが大半である。
30時間超えは昨年から大きく減少し、20時間を目安に時間短縮が求められる。

質問「許容できる残業時間はどれくらいですか？」



12

問7 上司・先輩に期待すること

「一人一人に丁寧に指導する」「相手の意見や考え方に耳を傾ける」が多い。
「丁寧に指導」は全国調査より10ポイント高く、製造業の多い地域的な特徴である。
また「良いこと、良い仕事を褒める」は昨年比でも大きく増加、承認欲求が相対的に高まっていと見られる。

質問「上司・先輩に期待することは何ですか？」(3つまで選択)

